



第2回「JLAA 地方創生アワード」

～ 地方自治体の地方創生に向けた取り組みを対象に～

全国の都道府県に本社を置く広告会社を会員に日本最大の広告会社ネットワークを有する一般社団法人 日本地域広告会社協会（略称：JLAA、所在地：東京都港区新橋 6-14-5、理事長：後藤 一俊・株式会社中広 代表取締役、会員数：74社）はこのほど、第2回「JLAA 地方創生アワード」の受賞者を決定しました。

全国各地の地方自治体では、地方創生に向けたさまざまな取り組みを進めています。こうした中で、当協会が優秀な先進事例を社会全体で広く共有していくため、昨年度「JLAA 地方創生アワード」を創設しました。2回目となる今回は、会員社が平成29年（1月～12月）に地方創生の分野で関わった地方自治体（都道府県及び市町村）が主管する事業が全部で 74件にのぼり、その中から優秀な事業にエントリー頂き、審査を経て、最優秀賞3事業、優秀賞3事業の各賞を下記のとおり決定しました。

最優秀賞

石川県白山市
「白山開山1300年記念事業 SNS広告を利用した情報発信に係る運営管理業務」

岐阜県恵那市
「女城主PRキャンペーン」

岡山県
「香港での岡山ブランド農林水産物情報発信強化業務」

優秀賞

岐阜県
「岐阜県移住定住総合ガイドブック及びモデルブック」

三重県桑名市
「三重県桑名市フェア
～桑名市 石取祭と特産品見本市～」

岡山市
「岡山連携中枢都市圏移住情報フリーペーパー 企画・編集」

* 賞別、都道府県順（北から）

概要

最優秀賞

優秀賞

JLAA加盟のご案内
お問い合わせはこちらから

- [第1回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第2回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第3回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第4回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第5回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第6回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第7回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第8回「JLAA 地方創生アワード」](#)
- [第9回「JLAA 地方創生アワード」](#)

総評

2回目になる JLAA 地方創生アワードですが、今回の受賞案件には、白山開山1300年記念事業やユネスコ無形文化遺産に登録された桑名市の石取祭、NHKの大河ドラマを受けて実施した恵那市の女城主PRキャンペーンなど、ある特殊な「タイミング」に合わせた事業が目立ちました。地方それぞれに独自の歴史や文化があり、それを単純に知らせていくというプロモーションが多くなってしまいがちですが、周年などの歴史的な事実や受賞といった、その時にしかないという事実に合わせて大きな仕掛けを作っていくことは非常に大切だとしめてくれる三つの事業でした。

また、移住定住促進に関する事業が 2件、受賞されました。全国の自治体が抱えている問題ということで、工夫されている部分を受賞をきっかけに他自治体の参考になれば幸いです。もう1件は、日本が国として直面している農林水産品の輸出促進という課題に対して、外国での話題醸成に成功したテレビ局招聘事業。日本の農林水産品は世界中の富裕層に人気ですが、地方自治体レベルで見れば他のエリアと競争状態になっているのも事実。ターゲット国の国民性までを知り尽くした当該国の制作スタッフが作るテレビ番組での報道、放映という手法は見習うべきものと判断しました。

第2回「JLAA 地方創生アワード」の概要

| | |
|------|---|
| 名称 | 第2回「JLAA 地方創生アワード」 |
| 選定期間 | 2017年1月1日～3月19日 |
| 対象事業 | JLAA会員が地方創生の分野で関わった、地方自治体（都道府県及び市町村）が主管する 平成29年1月～12月に実施された事業 |
| 表彰対象 | 都道府県及び市町村 |
| 選定方法 | 対象期間中にJLAA会員社が受託した地方自治体の地方創生事業のうち、優秀と思われる事業について詳細な資料を提出して頂き、審査委員会で審査を行い、各賞を確定しました |
| 審査委員 | JLAA役員9名（石田、桑田、間島、古賀、谷川、春元、松岡、大久保、寺坂） |

| [HOME](#) | [JLAAの活動](#) | [JLAA地方創生アワード](#) | [養成事業](#) | [認定商材](#) | [JLAA共通商材](#) | [お問い合わせ](#) | [個人情報保護方針](#) |

Copyright © 2014 JLAA. All rights reserved.